



道のり年表の主旨

月刊誌「トランジスタ技術」はアマチュア無線雑誌「CQ ham radio」を母体として1964年9月10日に創刊しました。1946年にJARL(日本アマチュア無線連盟)の機関誌として創刊されたCQ ham radio誌の発行が当時の版元である科学振興社などから受け継いだのが当社設立の1954年であり、それから10年目の節目にあたるこの年に新雑誌を創刊したのでした。その後、1974年には「インターフェース」を創刊しています。当時の副題はSemiconductor Techniqueです。初めの数年間は新しく登場したトランジスタをアマチュア無線に応用する方法を解説した記事が多くみられます。さて、年表形式でまとめるにあたって、限られたスペースに何を採り上げるかはずいぶん悩みました。まず時代背景が少しでもわかるように創刊を少し遡った1960年からにしました。また、身近な品物の物価や初任給なども含めました。なお、1959年にはPチャネ

ルMOSFETやNチャネルMOSFETがベル研の2人の研究者によって発明されています。1960年ともなると新種の半導体デバイスの発明は減りますが、モノリシックIC、発光ダイオード、マイクロプロセッサなどが発明されています。できるだけトランジスタ技術の広告と関係するよう選んだつもりですが、結果的に採り上げた事柄には偏りがあり、少なからず虫食いの感があることをご容赦いただきたいと存じます。

創刊当時はラジオやテレビの進化に対応する電子部品の広告が掲載されています。デジタル技術の進展と普及ともなって、半導体ICなどの広告が増えてきます。まだ、パソコンがマイコンと呼ばれていた頃にはそれらの製品広告が掲載されていましたが、パソコン専門誌が創刊されるとそちらへ広告が移っていきました。インターネット関連も同様で、世間で盛り上がりつつある話題と本誌の広告内容が一致しにくくなっていった感があります。

それでは年表を始めましょう(表1~表12)。年月日はyyyy.mmdd形式です。

〈表1〉創刊700号への道のり年表①

年月日	世の中のできごと	通信、放送、エレクトロニクス関連のできごと
1960.0000	封書10円、郵便はがき5円、コピー 60円、入浴料17円	
1960.0119	岸首相が日米新安保条約などに調印	
1960.0207		東京都内の電話局番が2桁から3桁に移行
1960.0430	 <p>TV8-301の海外広告</p>	ソニーが世界初のトランジスタ・テレビTV8-301を発表(8インチ白黒で56,000円)
1960.0501		FM東海が初の民放FM局(実験局)としてスタート
1960.0600	安保条約反対闘争	
1960.0820		東海道線の特急「こだま」「つばめ」で公衆電話サービス開始
1960.0910		カラー・テレビ本放送開始